2013年1月1日発行

市民・事業者・行政が協働して環境保全都市を実現するひらかた環境ネットワーク会議会報誌

NO. 36
冬号
平成25年
(2013)

環境ひらかた

Hirakata Kankyou Network Kaigi
ひら環ネット

今こそ！ ひらかたエコフォーラム2013

今だから、考えよう 私たちのくらしとエネルギー

写真は昨年の様子

日頃の努力をみんなで称え！
来て、見て、考え、行動に変える！
そして続けていこう！

今年度も2月2日(土)に、メセナひらかたで「ひらかたエコフォーラム」を開催します。市民のみなさんに環境問題や環境活動を知ってもらおうと毎年開催しています。市民や学校園の環境表彰、環境問題に頑張って取り組んでいる企業や団体、学校園のブース展示やクラフト教室、講演、エコチェックDAYの報告と抽選結果発表に加え、クイズ大会などさまざまなイベントがあります。また、今回は昨年取組んだ「節電コンテスト」の各賞の発表と授賞式も行います。展示ブースに足を運ぶと知らなかったことや難く考えていた「エコ」や「環境問題」のことがこんなに身近で「私にもできることがあるんだ！」「意識次第で変わるんだ！」と驚きと刺激を受けます。

家族、お友達と参加し、楽しみながら、そして真剣に環境について考えてみませんか。

目　次

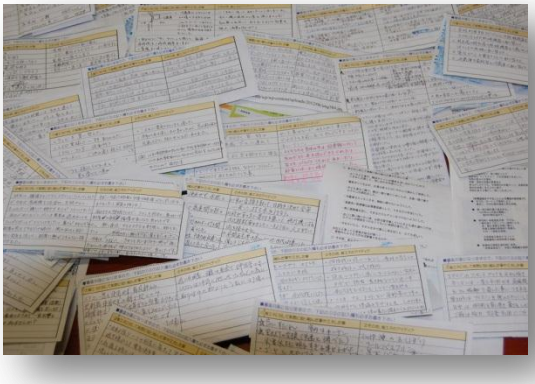
エコフォーラム	P1
節電コンテスト	P2
エコチェックDAY	P3
部会紹介	P4・5
お知らせ	P6
環境トピックス　VOL.2	P7
それゆけ！エコ企業「司電機産業(株)」	P8

ひらかた夏の節電コンテスト参加者の熱い思いと、達成感が伝わってきました

節電に特効薬なし！「ちょっとの意識と、継続」がキーワード

2012 年夏、前年に続き節電が叫ばれる中、ひらかた環境ネットワーク会議では、「ひらかた夏の節電コンテスト」を実施し、広く市民に節電を呼びかけました。積極的な参加行動として 257 名の方々がコンテストに参加し、応募用紙を事務所まで郵送あるいは持参して下さいました。応募用紙のなかの「実際に取り組んだこと、工夫したこと」「節電のアイデア」の記述欄には、それぞれの実践事例や感想が、記述スペースいっぱいに、びっしりと書かれたものが 90%を超えていました。用紙を付け足して書かれているものもあり、取り組みに対する熱い思いがひしひしと伝わってきました。

“節電”といえば、「我慢する」「大変」といったイメージがありますが、応募用紙の記述を読むと、「我慢」という文言はあるものの「大変」といったマイナスイメージはほとんど見られませんでした。逆に、「ゲーム感覚で楽しかった」や「家族が一体となれた」「普段いかに無意識に無駄な電気を使っていたか実感できた」など、取り組んだことで得られたことへの評価が多くみられました。今回の結果から見えてきたことは、省エネ家電への買い替えや、太陽光発電の設置といった特別なことを除けば、**“節電に特効薬なし！コンセントを抜くなどのこまめな行動、そして我慢！”**が消費電力の削減につながるということでした。ちょっと意識するだけで消費電力は確実に無理なく減らせます。息長く継続して取り組んでいきたいものです。



寄せられた思いのこもったコメント

節電

◆ひらかたエコチェック DAY 協賛･協力団体一覧◆

【協賛企業・団体】 大阪ガス（株）、恩地食品（株）、関西リサイクルシステムズ（株）、京都信用金庫、呼人堂、㈱小松製作所大阪工場、全労済共済ショップ枚方、大黒屋、㈱たまゆら、㈱ニューコマンダーホテル、農園　杉・五兵衛、㈱ホワイトマックス、（一般社団法人）ホワイトネット未来号

【協力団体】

(枚方市地球温暖化対策協議会メンバー)

イズミヤ（株）枚方店、関西医科大学附属枚方病院、関西電力（株）枚方営業所、京セラドキュメントソリューションズ（株）枚方工場、（株）クボタ枚方製造所、久門紙器工業（株）、（株）くらこん、（有）ケイ・トラスト、京阪電気鉄道（株）　、京阪バス（株）　、（株）京阪流通システムズ（KUZUHA MALL）、（株）京阪レジャーサービス、北大阪商工会議所、コマツゼネラルサービス（株）大阪支店、（株）サンエスモータース、サンレー冷熱（株）、生活協同組合おおさかパルコープ、誠信建設工業（株）、（株）ダイサンエンタープライズ、タイロン（株）、司電機産業（株）、（株）D.ダイワ 、（株）西川造園、日本珪砂（株）、日本精線（株）枚方工場、日本電音（株）、ネッツトヨタ新大阪（株）、枚方雇用開発協会、枚方市商業連盟、ホソカワミクロン（株）、（株）ヤマジ、理研ビタミン（株）大阪工場、（株）りそな銀行 大阪公務部

ひらかたエコチェックDAY ライフスタイルを見直した

この冬もみんなでエコチェック

ライフスタイルの見直しを引き続き続けていきましょう

夏の節電に続く第２弾は、恒例となった「ひらかたエコチェック DAY」です。枚方市と枚方市地球温暖化対策協議会との共催で、枚方市教育委員会の後援を受け実施しているこの取り組みも今年度で ４回目となります。今回の“エコチェック DAY”は 12 月 9 日でした。

毎年 11 月からスタートする「ひらかたエコチェック DAY」、今回も自身の日常生活を“エコチェックシート”で振り返り、チェックをすることで、日頃何気なくしていることが、温暖化の一つである二酸化炭素の発生源になっていることに改めて気付くことができました。それによって、普段の暮らしの中で地球温暖化対策としてできることや、日常行動で改善できること等々、チェックをすることで、考えなければいけない事、見えてくるものがたくさんありました。

（保育園・保育所） 愛和、青桐、天の川、宇山光の子、小倉、香里敬愛、川越、北牧野、ギンガ、禁野、禁野分園、楠葉野、くずはあけぼの、光善寺、香里ヶ丘、香里団地、阪、桜丘北、さだ、常称寺、親愛、菅原、すぎの木園、第二徳風、第２長尾、第二光の峰、鷹塚山、つくし、津田、徳風、長尾、中振敬愛、中宮、渚、渚西、茄子作、走谷、ハレルヤ、光の峰、氷室、枚方、枚方たんぽぽ、藤田川、船橋、牧野、まりも、三矢ゆりかご、宮之阪、明善第弐、明善、村野、山田、幼児療育園

（幼稚園） うみのほし、香里、春日丘、浄、樟葉南、樟葉、桜丘、さだ西、さだ、高陵、田口山、津田、殿山第二、枚方

（小学校） 伊加賀、磯島、小倉、開成、香陽、春日、樟葉北、樟葉西、交北、香里、五常、桜丘北、桜丘、さだ、さだ東、招提、菅原東、菅原、高陵、田口山、津田、津田南、殿山第一、殿山第二、西長尾、西牧野、東香里、枚方、枚方第二、平野、藤阪、船橋、牧野、明倫、山田、山田東

（中学校） 樟葉、樟葉西、桜丘、さだ、招提北、招提、杉、第一、第二、第三、第四、津田、長尾、長尾西、中宮、渚西、東香里、枚方、山田　　**（高校）** なぎさ高等学校　　**（大学）** 関西外国語大学

（地域） 朝日住区、北船橋町、協和会、くずはセンチュリータウン住民の会 、楠葉台、くずはタワーシティ、楠葉並木、咲が丘、新船橋本町、たむらゆうゆう会、西長尾校区コ、西船橋、花園南連絡協議会、東中振コ、東船橋コ、樋の上町、樋之上住宅、船橋二宮、船橋本町２丁目、船橋本町１丁目、メゾン枚方、美咲１丁目、美咲２丁目、美咲３丁目、面取１丁目

（その他団体・企業） 天の川を清流にする会、エコ手づくりの会、国際ソロプチミストー枚方・中央、算数教室 三和レジン工業㈱、(特活)森林ボランティア竹取物語の会、尊延寺の自然を守る会、長尾まち美化委員会、枚方・LRT 推進会、枚方いきもの調査会、枚方市民菊人形の会、ひらかた自助具公房、くらしのリーダー、(特活)ひらかた市民活動支援センター、枚方宿 くらわんか五六市、枚方消防署・枚方東消防署、枚方食品公害と健康を考える会、(社)枚方青年会議所、枚方ソフトボール協会、㈱枚方第一、ホースフレンズ・枚方セラピー牧場

※各学校園、地域の記載名において、保育園・幼稚園・自治会等の共通部分は省略させて頂きました

部会活動紹介

ひらかた環境ネット会議では、それぞれテーマごとに部会を結成し、主体的に活動を行っています。

自然エネルギー部会

ひらかたエネルギー学校
初の連続５回セミナー
参加者も増え活動の浸透を実感

ひらかた自然エネルギー学校は、2005 年スタート以来、初めて、7 月から 11 月まで 5 か月連続して、毎月 1 回のセミナーを企画しました。10 月は、「バイオマス」をテーマに、京大の宇治キャンパスで大阪ガスとの共同研究の場と、京都ペレット町屋ヒノコを訪れました。最終回の 11 月は、2011 年スタートしたピコ水力発電所にソーラーをジョイントして充実させた「穂谷エネルギースポット」を訪れました。昼食時には市長も参加下さり、和やかな雰囲気の中、午後の部を迎えました。自然エネルギー部会の活動や上武邸のエコハウスについて報告をし、続いて意見交流を行い受講生の声を聴く有意義な時間となりました。毎回 20 名前後の方が受講され、リピーターの方もおられ、今までの自然エネルギー学校の活動が浸透してきていることを感じました。

※7 月、8 月、9 月のセミナー内容は会報誌 35 号をご覧ください。

穂谷エネルギースポットを見学

環境教育サポート部

10 月開催の S-EMS 研修会

学校版環境マネジメントシステム
枚方の誇れる財産として、支援活動を継続

学校版環境マネジメントシステム（Ｓ－ＥＭＳ）は、平成 18 年９月『枚方市環境教育・環境学習推進指針』をもとに生まれました。昨年４月に４周年を迎え、学校園 75 施設２順目の訪問支援活動に入りました。昨年度の特長は、６月初旬から学校訪問活動が行え、８月末の夏休みの終わり頃にはほぼ達成できました。また、10 月には支援活動も大詰めを迎え、年度行事の大きな課題である教育委員会主催「Ｓ－ＥＭＳ研修会」が輝きプラザきららで実施され、部会から講師を派遣することができ好評を得ることができました。学校園でも、3.11 大災害を体験し家庭環境から学校環境という身近な観点から、Ｓ－ＥＭＳ支援活動に大きな興味と関心を感じて頂けました。これからは学校園自らが掲げる各年度の“環境基本計画”に沿った主体的な行動が必要であると感じています。Ｓ－ＥＭＳを順調に運用している自治体は非常に少なく、枚方市の誇れる財産として運用改善に良好な意見が提供でき、教育現場での負担とならないようなシステムの構築と支援活動に一層心掛けたいと思います。

公共交通部会

第14回バス！のってスタンプラリー
バスにのって枚方を見て学び、宝物をたくさん発見！

・岡東町公園に集まった参加者
・市長挨拶、松村先生の「バスとまち」のお話を聞いてスタート
・枚方市駅からバスに乗りこむ

伝王仁墓にてボランティアガイドの説明を聞く

長尾台郵便局バス停で時刻表を確認

ゴール♪

10 月 20 日、第 14 回「バス！のってスタンプラリー～なぞの コトバを 探せ！～」を実施しました。お天気に恵まれ、参加者は、募集段階の 170 名を大幅に超えて 220 名に。この日は、バスの中やバス停でスタンプシートを出している人が多く見られました。新たな試みとして、動物の名前を８個以上作った方を名探偵と認め、「黄金の名探偵」の認定証を渡し、たくさんの方に楽しんでいただきました。アンケートで、多くの方が「大変面白かった」、と答えてくれました。参加者から、「最高に楽しかったです」、「バスの乗り継ぎもほとんどストレスを感じることがなく、バスの車内も動物の名前を考えるのですぐ時間が経過」、「枚方の宝もたくさん発見することができました」、という声をいただきました。毎回苦慮するポイント設定ですが、今回は「枚方って、バス便利だな」と痛感してもらえるポイント 設定になったと思いました。

環境活動スターター講座 vol.1 ～ ソーラー＆エコ cooking ～

親子でエコクッキング！食を通じて「環境」を考えるきっかけに

当日は幼児から小学生まで 20 名を超える親子の参加がありました。調理実習に入る前に、食（調理）を通して環境のことを意識してもらうためのミニ学習として、「エコクッキングって何？」と子どもたちに聞いてみました。「材料を使い過ぎない」、「ガスを使う時間を短くする」「洗う前にぼろ布や新聞紙でふく」など元気に答えてくれました。その後、地産地消、旬のものを食べることなどわかりやすく説明したのち、調理開始。当日はあいにくの天候でソーラークッキングはできず、ソーラークッカーの装置の作り方の説明に終わりましたが、皆でわいわい楽しく、さつまいものニョッキとスイートポテトを作り、おいしく頂きました。

環境活動スターター講座 vol.2 甦れ菊人形～まちづくり編～

枚方の文化を継承していきたい！菊人形の歴史を学ぶ

まちづくり部会では、環境活動スターター講座 vol. 2 を担当し、11 月 21 日ひらかた公園青少年センター集会室で約 20 名の参加者の中、「甦れ！菊人形」をテーマにミニ講座を開催し、意見交流を行いました。講座の開催決定後に、ひらかたパークで、100 周年記念の菊人形祭を知りタイムリーな企画となりました。当日は「菊人形の歴史と今」をテーマに、枚方市民菊人形の会の山本誠さんによるミニ講座で、菊人形の歴史や、現状、抱えている問題等々を学び、その後、枚方の残したい文化菊人形を「どうすれば継承していくことができるか」、「どんな形で遺していけるか。また、遺していけばいいか」等、受講者と一緒に質疑も交えて話し合い、まちづくりへの関心を持ってもらえる一歩となりました。

他団体連携事業

紀州と枚方、古（いにしえ）の縁乗せて

環境ネットワーク会議では、環境活動に取り組んでいる団体やグループ、事業者等を支援したり繋いだり、また連携をとって環境の取り組みを推進させたりといった「他団体連携事業」を行っています。その事業の一つとして、「和歌山市語り部クラブ」に、このほど宿駕籠を寄贈しました。これは同クラブから「宿駕籠のレプリカが手に入らないか」との相談をうけ、環境ネットワーク会議の会員である「NPO 法人竹取物語の会」に依頼したところ、当会が穂谷の竹やヒノキの間伐材を使って製作してくださり実現できたものです。

（10 月 31 日にその譲渡式を行いました。関連記事が枚方市広報 12 月号に記載されています）

お知らせコーナー

このコーナーの情報に関する申し込み、お問い合わせはひらかた環境ネット会議事務局までご連絡ください。
☎072-847-2286

環境スターター講座 vol. 3　～小さい春みつけた！東部里山で春を見つけよう～

日々のくらしの中で、季節の移り変わりを感じる機会がだんだんと薄れてきています。四季を未来の子ども達に伝え、共に考える機会になるよう企画しました。東部里山の自然の中で、ゲーム感覚で植物、動物、空気、空、匂いなど、春を見つけ♪感じてもらう♪フィールドワークです。

■開催日：平成 25 年 3 月上旬予定　■場 所：東部里山
■対象：親子連れ　■参加費：無料　※詳しくは、チラシでお知らせします。

◆◆◆◆エコキャップの回収報告◆◆◆◆

エコキャップ　6・7・8・9・10 月郵送分　256, 550 個
累計　339, 950 個
CO2 累計　2, 619. 0 kg
ポリオワクチン　415. 7 人

エコキャップ回収に，ご協力いただきました大勢の皆様、ありがとうございました。

※エコキャップは、ポリオワクチンの購入資金として寄付されます。

■平成 24 年「第 3 回理事会」の報告■

平成 24 年度第 3 回理事会を、10 月 19 日にひらかたネットワーク会議(元さだ保育所跡地)会議室で、理事 15 名中、本人出席 13 名（代理出席 3 名含む)、委任状 1 名、議決権行使 1 名のもと開催しました。

第 1 号議案「運営委員任命の件」は、全員異議なく承認可決され、運営委員山田幸信氏が辞任、後任に上武康宏氏選任されました。予算及び事業の中間報告について事務局からあり、質疑応答の後、意見交流しました。

環境トピックス Vol.2

私達を取り巻く環境は日々変化しています。最近の環境問題や、環境に関する事柄について「知ってほしい・知らせたい」情報などを、このコーナーで伝えていきます。今回のテーマは、「次世代のエネルギー資源シェールガス」「夏と冬、電気使用量が多いのは？」「温暖化と豪雪」です。

◆次世代のエネルギー資源シェールガス

シェールガスは、非在来型天然ガスのことです。在来型と違い、貯留層が砂岩でなく、泥岩の中、特に固く、薄片状にはがれやすい頁岩（シェール）に含まれることから、シェールガスと呼ばれます。米国では、2000 年から天然ガスの開発をし、ガスと同じ地層にあるシェールオイルの開発も始め生産量を上げています。油田と違い、世界各地にあり、その埋蔵量は極めて大きく採掘にかかる期間も従来の天然ガスが 1 年ほどかかるのに比べ、数か月と短く、新しい天然ガス資源として重要視されています。わが国でも、昨年 10 月、石油開発大手の石油資源開発が秋田でガス田の泥岩層からシェールオイルの試験採掘に成功したと発表しました。国内初で、国内で産出可能な次世代のエネルギー資源として注目されています。

しかし、一方環境面では二酸化炭素の排出が石油に比べ 25%少ないとされている従来の天然ガスより、シェールガスは多いといわれていることや、採掘時における水質汚染、化学汚染等の環境汚染の問題もあり、経済性や環境への影響などの面からも、動向を見守っていく必要があります。

◆夏と冬、電気使用量が多いのは？

電気の使用量、夏と冬、どちらが節電しやすいでしょう。夏場の電力不足は深刻で、誰もが強く節電の意識を持ちました。では、冬場はどうでしょう。冬の節電目標は低く設定されていますが、実は夏場より冬の方が電力需要は大きいのです。冬場、一番の消費は暖房です。また、照明器具による電力消費が増加します。朝の起床時と夕方帰宅し就寝時までの暖房と、照明を点灯する時間帯が早いので、電気の利用時間が長くなります。暖房にエアコンなど電気の他、ガスや灯油を利用するなど分散するので、さほど感じないかもしれないですが、冬も引き続き節電の取り組みが求められています。

◆温暖化と豪雪

地球温暖化などに伴って北極海の氷が少なくなると、低気圧の進路が変わって日本近くに寒気が入りやすくなり、豪雪を引き起こすことがあると、海洋研究開発機構のチームが昨年発表しました。チームは過去３０年の気象データを解析し、温暖化の影響が深刻とされる欧州の北にあるバレンツ海の海氷面積が小さい時は、通常はシベリア沿岸を東向きに進む低気圧の進路が、北寄りになって沿岸を離れることを確認。高気圧が北極海沿岸まで拡大して強い寒気が形成され、日本に来襲してくるとのこと。この冬もこうした気象条件にあり、チームは「進行する温暖化にもかかわらず最近の日本の冬が寒い原因の一つかもしれない」としています。昨年 12 月以降は全国的に気温の低い時期が多く、各地で大雪となりました。同じように、夏のゲリラ豪雨も地球温暖化などと無関係ではありません。

それゆけエコ企業!!

地球温暖化防止に積極的に取り組んでおられる元気な事業者さんを紹介するコーナーです。今回は枚方市春日北町にある「司電機産業株式会社」さんです！

再生可能エネルギーをいち早く取り入れ 私たちのしあわせ、よりよい社会のため 常に前進していくチャレンジ精神

ひらかた環境ネットワークがNPO法人になったH18年6月、その翌月の会報誌の団体紹介コーナーに登場していただいたのが司電機産業株式会社さんでした。紙面には、平成5年に建てられた全壁面に太陽光パネルを設置したビルの写真を掲載しました。平成5年、今から約20年も前、今ほど再生可能エネルギーに注目が集まっていない時代、その効率から壁面設置には有識者、事業者の反対も多い中、何とか賛同者を見つけて説得し建設にこぎつけたと当時の苦労を語ってくださいました。あれから、社会情勢は急速に変化し、助成金整備、電力の定額買い取り制度など、太陽光発電を取り巻く状況は進みました。そのような中、司電機さんが今、チャレンジしておられるのは太陽光発電で得た電力を使いLED電球を光源として植物を育てる植物栽培機です。専門の事業者に任せておけといわれる中、10 数年前から取り組んでおられます。事業者として重要であるはずの収益性を度外視して常に先を見据えた取り組みにチャレンジしていく司電機さん背中を押すものは何か、20 年前からずっと変わらず「人のために社会のために」という所に帰着するのではないでしょうか。より良いと思われるものには迷わず取り組んでいくというチャレンジ精神は見習いたいものです。

私達も何か社会のためにとやっていることがあるのかと、振り返ってみるのも大切ではないでしょうか。

植物育成装置 NSM
土壌を使った小型栽培機。

司電機産業株式会社
〒573-0131
枚方市春日北町1丁目 13-6
TEL:072-858-5671

蓄電池設備･直流電源装置･無停電電源装置･太陽電池･風力発電

ひとこと

この夏の“節電コンテスト”に我家も取組んだ結果、７月と９月は１５％以上の節電が出来た。節電タイプのクーラーや冷蔵庫等の更新はなく、扇風機を１台追加購入しクーラーの使用を減らしたり、電灯をこまめに消したりで達成できた。少しの我慢と少しの配慮で１５％の削減が可能であった。勿論、前々から節電を心掛けていた家庭は、更に１５％の削減にはそれ相応の工夫と努力が必要であったと思いますが、我が家なみの家庭も多いと思います。節電は、エネルギーの節約と同時に家計の節約にもなります。これからもエネルギーの節約に努めましょう。　　廣田武司

ひらかた環境ネットワーク会議 会報「環境ひらかた」第36号

平成25年1月1日発行（年４回発行）
発行：（特活）ひらかた環境ネットワーク会議
〒573-0042 大阪府枚方市村野西町５番１号
サプリ村野内（旧村野小学校）
電話・FAX　072-847-2286
Eメール　jimukyoku@hirakata-kankyou.net
ホームページ http://www.hirakata-kannkyou .net
発行責任者：丸井 晶子　編集責任者：廣田 武司

※サプリ村野耐震工事の為、平成24年４月～平成25年３月まで
下記の住所へ移転しています。
移転先事務所の住所　〒573-0064　枚方市北中振３丁目20-12